

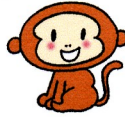
# そよかせたより

2009  
8月号

今年はこの不景気で花火大会が中止になっている所もあるようです。

みなさんは花火大会やお祭り、海や山などを夏らしいイベントはしましたか？

さて、ある新聞にこんな記事があったそうです。



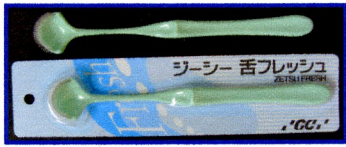
日本人の間では使用率の少ない「デンタルフロス」。良いとばかりかいても、ついつい手を抜いてしまいがちです。しかし、あるところの野生のおサルさんは、人間の髪の毛を両手に持って、まるでデンタルフロスのように歯間に差し込み、食べカスを取り除くそうです。

この行動自体は、十数年前から目撃されているらしいのですが、なんと親サルが子サルに大げさな身振りで使用法を教えている姿を確認したとの事。  
親子でレッスン。おサルさんも歯の健康は重視しているのではありませんか(笑)

## GC 舌フレッシュ

口臭・歯周病・味覚異常の原因となる舌の汚れ(舌苔)を取る「舌フラシ」!!

- ねじれブラシで、汚れをかき出しやすい。
- ネットが柔らかいので、舌を痛めにくい。
- 柄が長く握りやすいので、介護をする方にも使い易い設計。
- スプーン状の受け皿に汚れがたまるので、掃除しやすい。



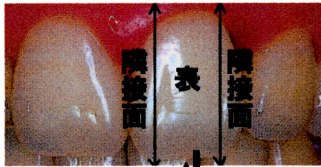
## 歯周病の治療はどうやって行うの？



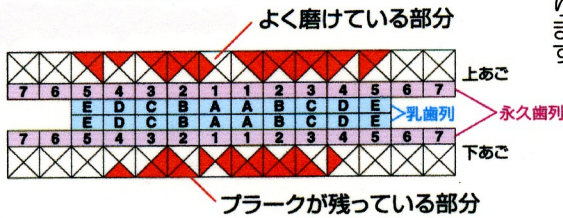
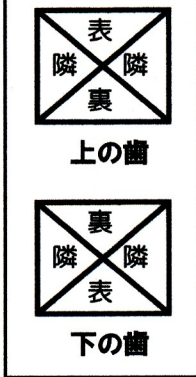
歯周病の最も大きな原因が歯垢(細菌のかたままり)であるという事を4・5月号でお話ししました。  
今回は、先月号の歯周ポケット検査に引き続き、汚れの検査法である『染め出し』についてお話ししたいと思います。

### 汚れの検査『染め出し』

汚れの検査は、文字通り汚れている部分を調べる検査です。まず始めに、プラーク(歯垢)など汚れが残っている部分だけが赤く染まる染色剤で、どの程度のブラッシングができているかをチェックし、それをチャートにして%であらわします。この%の値が、20%以下のスコアに保たれている人は歯槽膿漏の進行が遅いという研究データがあります。



1歯を表・裏・両隣接の2面(1番奥の歯は奥面)の4つの面に分けて、染まった面の数を数えます。(奥歯のかみ合わせの面は含みません)



この検査は、患者様にご合った歯ブラシや磨き方を選ぶ基準としても、とても重要ななります。  
では実際の歯垢の汚れを取っていくのか、どのようにして歯ブラシや磨き方を選んでいくのかについて、次回からお話ししていきます。

そよかせ歯科医院の URL  
<http://soyokaze-dc.com/>

## 今月のスタッフ紹介 アシスタント 朽方 あやか

初めてのお仕事でわからないことばかりの中スタッフのみなさんに支えられて出来ることが少しずつ増えてきました。緊張と背中合わせで毎日どきどきです。これからたくさんの方を覚えていくなかで初めての気持ちを忘れないでがんばっていきたくと思います。最近午後には受付にいたことが多いためよかつたら私の顔覚えてくださいね。私もみなさんの顔が早く覚えられるように頑張りますね。

## 院長より

むし歯にしても歯周炎(歯槽膿漏)にしてもその原因の多くは汚れです。歯科の疾患の多くは未だにこの二大疾患です。この汚れに対する検査は非常に大切になります。この汚れの中でも、食物の残りが口の中のはい菌と混ざり合い固まる前の柔らかい状態を歯垢(プラーク)と言います。

このプラークの中身や口の中のはい菌の種類あるいはこのプラークを洗い流す、唾液の性状、量、水分の摂取量や性状さらには年齢的要素などにより歯周炎なりやすかったり、むし歯になりやすかったりします。

このように、食物はフレッシュな状態で体内に吸収されれば、体内にとって必要な栄養素としてとても良い働きをするほかに食欲を満たし、人間のやる気(バイタリティー)の基になるのですが、反して残渣として悪い菌と反応することで生体には悪影響を示します。最近では歯周病の原因菌により胃潰瘍、心筋梗塞、脳梗塞などの原因にもなりかねないとも言われております。更には糖尿病と歯周病の間にも密接な関連があるとも言われております。

これら疾患の根源となる歯垢(プラーク)の除去(ブラークコントロール)がやはり大切となります。